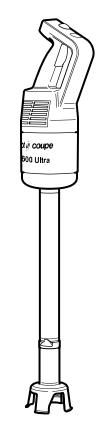


スティックブレンダー 【ロボクープ】 MP-600U (業務用)



取扱説明書



このたびは、当社のロボクープ スティックブレンダー (MP-600U) をお買い求めい ただきまして、まことにありがとうございました。

この商品を安全に正しくご使用いただくために、お使いになる前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ安全にお使いください。

お読みになったあとは、いつも大切に保管し、必要なときにお読みください。

保証書は、この取扱説明書の最終ページに記載されております。

必ず「お買上げ日・お買上げ店名」等の記入をお確かめください。

保証書付

もくじ

| 安全上のご注意 | 1 <i>~</i> 7 |
|-------------------------------|--------------|
| 各部の名称 | 8 |
| 電源コードと電源について | 9 • 10 |
| 操作手順 運転のしかた | |
| 連続運転のしかた パンサポート(オプション)について | |
| お手入れ | 18~23 |
| 収納について | 24 |
| フットシールの交換 | 25 |
| 本機から電源コードを取り外すには | 25 |
| 故障の診断と手当 | 26 • 27 |
| 仕様 | 28 |
| 商品保証書 | 29 |

安全上のご注意

ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください

表示と意味は次のようになっています。

注意喚起シンボルとシグナル表示の例

| ⚠警告 | 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定 される内容を示します。 |
|-----|--|
| ⚠注意 | 誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害*の発生 が想定される内容を示します。 |

^{*}物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

図記号の例

| 感電注意 | △は、注意(警告を含む)を示します。 具体的な注意内容は、△の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「感電注意」を示します。 |
|--------|--|
| 接触禁止 | ◇は、禁止(してはいけないこと)を示します。 具体的な禁止内容は、 ◇の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「直接手を触れないこと」を示します。 |
| プラグを抜く | ●は、行動の命令(強制)を示します。 具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「差し込みプラグをコンセントから抜く」を示します。 |

⚠ 警告



アースとる

アースを必ずとること

アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。

アース端子がない場合、電気工事士によるD種接地工事が必要ですので、電気工事店に依頼してください。



専用電源

本機の電源は、専用の漏電遮断器付サーキットブレーカーもしくは、それと同等の設 備のある専用コンセントを使用すること

電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用、およびタコ足配線をした場合には、感電や発熱、火災の原因になります。



電気工事

電気工事は、「電気設備に関する技術基準」、「内線規定」に従って施工し、必ず専 用回路を使用すること

電源回路不良、容量不足や施工不備があると、漏電、ショート、感電、火災の原因に なります。



付属している専用の電源コード以外は、本機に接続しないこと

他の電源コードを使用されますと、漏電、ショート、感電、火災の原因になります。



付属している専用の電源コードを他の機器に使用しないこと

他の機器に接続されますと、機器の接続部を破損させたり、漏電、ショート、感電の原因になったります。



屋外禁止

屋外で使用しないこと

雨水のかかる場所で使用されますと、漏電、ショート、感電の原因になります。



湿気禁止

湿気の多いところや、水などがかかり易い場所で使用しないこと

モーターケースや電源コードに水などがかかりますと、絶縁低下から漏電、ショート、 感電の原因になります。



水掛け禁止

モーターケースに直接水をかけないこと

漏電、ショート、感電の原因になります。

♠ 警告



電源コードを傷つけないこと

加工したり、引っ張ったり、たばねたり、また重いものを乗せたり、挟み込んだりすると、電源コードが破損し、感電、火災の原因になります。



電源コードや電源プラグが破損している場合は使用しないこと

そのまま使われますと、ショート、感電、火災の原因になります。



点検清掃

禁止

電源プラグの刃および刃の取付面にほこりが付着していないか定期的に電源プラグを 抜いて確認し、刃の根元まで確実に差し込むこと

ほこりが付着した場合や、接続が不完全な場合は、感電、火災の原因になります。



連絡

漏電遮断器または、サーキットブレーカーが『OFF(切)』に作動した場合には、お買上げ店に連絡すること

無理にレバーを『ON(入)』にすると、ショート、感電、火災の原因になります。



機械内部の電気装置や配線にさわらないこと

電気装置や配線に触れると、感電する恐れがあります。



濡れた手で電源プラグなどの電気部品に触れたり、本機のスイッチを操作しないこと

漏電、ショート、感電の原因になります。



異常時は操作スイッチを切って機械を止め、電源プラグを抜くか、本機専用電源を 『OFF(切)』にして、すぐにお買上げ店へ連絡すること

異常のまま使用を続けると、ショート、感電、火災の原因になります。



ガス器具などからガスが漏れていたら、本機を使用せずに、窓をあけて換気すること

本機の操作スイッチを押したり、電源プラグを抜いたりすると、引火爆発し危険です。



ナイフは鋭利ですから、直接刃の部分に触れないこと

ナイフの刃に触れた場合、ケガの原因になります。



本機を始動させたり、止めたりするときは、必ず食材の入った容器の中にベルカバー 部分を差し込んだ状態でおこなってください。

容器内

ナイフがひとに触れたりしますと、ケガの原因になります。 フを回転させた状態で食材に差し込んだり、食材から抜いたりしますと、食材が 飛び散り周囲を汚す原因になります。



調理中は、ハンドルとフットの上部をしっかり持つこと

本機を落としたり、倒したりしますと、ケガの原因になります。 食材の容器を倒したりした場合、周囲を汚す原因になります。 熱い食材を調理中の場合、食材が体にかかると、やけどの原因になります。



容器の重さ

パンサポート(オプション)を使用する場合は、容器に食材を入れた状態で、本機を 十分にささえる重さにすること

本機を落としたり、倒したりしますと、ケガの原因になります。 食材が入った容器を倒した場合、周囲を汚す原因になります。 熱い食材が入った容器を倒した場合、やけどの原因になります。



パンサポート(オプション)を使用するときは、本機が倒れないようにしっかり固定 すること

本機を倒したりしますと、ケガの原因になります。 食材が入った容器を倒した場合、周囲を汚す原因になります。 熱い食材が入った容器を倒した場合、やけどの原因になります。



ナイフの回転中は、絶対に指、箸、ヘラなどを容器に入れないこと

誤ってナイフに触れた場合、ケガの原因になります。 ナイフや箸、ヘラなどが破損した場合は異物混入の原因になりします。



ナイフの回転が完全に止まってから、本機を容器から抜くこと

ナイフの回転が止まらないうちに容器から抜くと、ケガの原因になります。 食材が飛び散り、周囲をよごす原因になります。



容器に食材を入れるときや取り出すときは、操作スイッチを「OFF(切)」にして機械 を止め、電源プラグも抜いて、本機を容器から抜くこと

プラグを抜く

回転しているナイフに触れた場合、ケガの原因になります。 誤って、操作スイッチを押した場合も、ケガの原因になります。

♠ 警告



本機へのベルカバーの取り付け、取り外しのときは、操作スイッチを「OFF(切)」にして、必ず電源プラグを抜いてからおこなうこと

誤って、操作スイッチを押した場合、ケガの原因になります。



ベルカバー内へのナイフの取り付けや、取り外しのときは、付属のツールセットを使用し、料理用手袋や厚い布などで手を保護すること

ナイフの刃に触れた場合、ケガの原因になります。



修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理したりしないこと

修理に不備があると、ショート、感電、火災などの原因になります。





改造は絶対におこなわないこと

改造をされると、ショート、感電、火災の原因になります。



廃棄は専門業者か、お買上げ店に依頼すること

放置しますと、子供などがケガをする原因になります。

専門業者

注意



電源プラグを抜くときは、電源コードを持って抜かないこと

必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると電源プラグ内部でコードが傷つき、ショート、感電、火災の原因になります。





モーターケース内に食材などが入らないようにすること

食材がモーターケースに入った場合、漏電、ショート、感電の原因になります。



熱い食材(80℃以下)を調理する場合は、湯気がモーターケースにかからないようにすること

モーターケースの中に湯気が入り込みますと、漏電、ショート、感電の原因になります。



可燃性のスプレーを近くで使用したり、可燃物を置いたりしないこと

本機の操作スイッチを入れたり、電源プラグを抜いたりすると、発火の原因になります。



プラグを抜く

本機の清掃のときや点検のときは、必ず操作スイッチを切って機械を止め、電源プラ グも抜くこと

誤って操作スイッチを入れた場合、ナイフが回転してケガの原因になります。 漏電、ショート、感電の原因になります。



ナイフ、ベルカバー、フットは使用後、必ず除菌洗浄剤で洗浄、清掃すること

除菌洗浄しないと、付着した食材が腐敗し、雑菌が繁殖して健康障害の原因になります。



お手入れのときは、ナイフを洗浄液の入ったコンテナやシンクなどに、漬けたままに しておかないこと

泡でナイフの刃が見えなくなり、誤ってナイフの刃に触れると、ケガの原因になります。



洗剤を使ったあとは、洗剤成分を十分に洗い流すこと

洗剤成分が残っていると、健康障害の原因になります。

洗い流す



本機を使用しないときは、水を入れた容器などの上に置かないこと

水の中に落下した場合、電気部品の絶縁が悪くなり、漏電、ショート、感電の原因になります。





本機の使用以外のときは、熱器具の周囲に置いたりしないこと

熱でプラスチックが変形したり、破損したりした場合、ケガの原因になります。



本機を使用しないときは、ウォールサポートに掛けて収納すること

そのまま壁などに立てかけたりした場合、転倒によるケガの原因になります。



プラグを抜く

で使用後は、安全のため操作スイッチが切れているのを確認し、電源プラグを抜くこ

電源プラグやコンセント部にほこりが溜まって発熱、発火の原因になります。



漏電遮断器は月に1回動作確認すること

漏電遮断器を故障のまま使用すると、漏電のとき動作せず、感電の原因になります。

動作点検

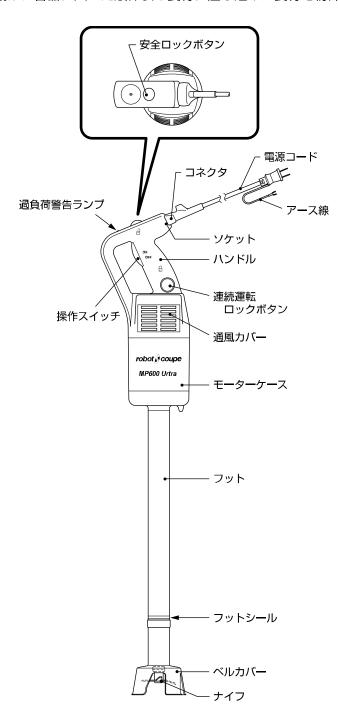


テープ止め

このお使いになっている商品を転売や、譲渡されるときには、新しく所有者となる方が安全な正しい使いかたを知るために、この取扱説明書を商品本体の目立つ所にテープ止めすること

各部の名称

本機は、容器に入った液体状の食材に差し込み、食材を粉砕、撹拌する機械です。



付属品



ナイフと、ベルカバーの 分解や組み立てに使用する 専用工具です。



本機のフットシールが、 破損や劣化などした場合に 交換してください。 (P.25参照)



スティックブレンダーを壁に 立て掛けるための治具です。 (P.24参照) (※取り付けるためのビスなどは、 付属しておりません。)

電源コードと電源について

∧ 警告



本機の電源は、専用の漏電遮断機付きサーキットブレーカーもしくは、それと同等

の設備の専用コンセントを使用すること 電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用、およびタコ足配線をした場合 には、感電や発熱、火災の原因になります。



水などがかからないようにすること

モーターケースと電源コードに水などがかかりますと、絶縁低下から漏電、ショー ト、感電の原因になります。



アースを必ずとること

アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。 アースが不完全な場合、感電の原因になります。 電気工事士によるD種接地工事が必要ですので、電気工事店に依頼してください。



付属している専用の電源コード以外は、本機に接続しないこと

他の電源コードを使用されますと、漏電、ショート、感電、火災の原因になります。



付属している専用の電源コードを他の機器に使用しないこと

他の機器に接続されますと、機器の接続部を破損させたり、漏電、ショート、感電、 火災の原因になったりします。

付属の電源コードを本機に接続してください

本機をお使いになる前に付属の電源コードを本機に接続してください

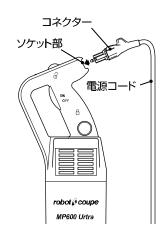
電源コードのコネクターを本機のソケット部に差し込 み、「ガチッ」と音がするところまで押し込んでくだ さい。

安全ロックボタンを押せるか確認してください

安全ロックボタンが押せましたら接続は完了です。

安全ロックボタンが硬くて押せない場合は、コネクター が奥まで差し込まれていない状態です。

そのときは、コネクターをさらにしっかり押し込んで奥 まで差し込んでください。



お願い

電源コードは、不具合などで交換が必要なとき以外は、本機から取り外さないでください。

電源コードは、本機専用ですので、他の機器には使用しないでください。

電源コードを破損する原因になります。

本機は、コンセントに電源プラグを接続 した場合、コードに余裕がある範囲内で 使用してください

電源コードの長さ:3.6m

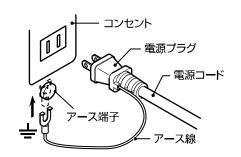
電源プラグのアース線をアース端子 に接続してください

で使用の際は、本機専用のコンセントに電源プラグを差し込んでください

お願い

延長ケーブルを使わずに直接 100V のコンセントに接続してください。

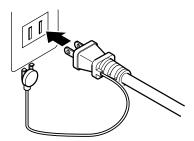
長い延長ケーブルなどを使用しますと、電圧降下のため起動しないことがあり、電圧降下が大きい場合(モーター起動電圧AC85V以下)は、モーターの起動電流値が異常に高くなり、故障の原因になります。



操作手順

運転のしかた

- 1. 調理を始める前に「お手入れ」(18ページ)を参照して、ベルカバー、ナイフ、フットなど、食材が接する部分をきれいに洗浄してください
- 2. ご使用前に、「操作スイッチ」が解除位置(押しても堅くて動かない状態) になっているか必ず確認してください
- 3. 電源コードが、ベルカバーやナイフに接触していないことを確認してください
- 4. 専用コンセントに、電源プラグを差し込ん でください



 食材の入った容器(底の平らな鍋など)に、 本機のフットの先を差し込んでください

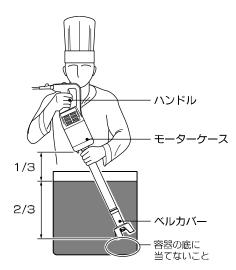
お願い

本機を食材に差し込む前にフットの先端に ベルカバーがしっかりと取り付けられてい るか確認してください。

食材の中にベルカバーが落ちますと、フット内部に食材が浸入し、故障の原因なります。

本機は、落としたり、倒したりしないでください。

落としたり、倒したりしますと、故障の 原因なります。



本機のフットやベルカバーを容器の縁や硬い物にぶつけないようにしてください。 フットやベルカバーが変形し、故障の原因になります。

空運転はしないでください。

食材などに差し込まずに運転しますと、軸受け部が摩擦により早く損傷し、故障の原因 になります。

ベルカバーが容器の底に当たらないように、本機を少し傾けてください。 ベルカバーを容器の底に当てて調理をおこなうと、容器内の対流が悪くなり撹拌ムラの 原因になります。

調理中は、通風カバー部分をふさがないでください。

通風カバー部分をふさぐと、モーターケース内に熱がこもり、モーターが故障する原因になります。

お願い

フットの先(ベルカバーを含む)は、2/3まで(目安)の範囲内を食材に差し込んでご 使用ください。

食材の調理可能温度は、80℃以下ですので、80℃を超える食材は調理しないでください。 80℃を超える熱い食材を調理しますと、ベルカバー、フット、ナイフのプラスチック部 分の変形や、変色の原因になります。

粘度の高い食材は、調理しないでください。

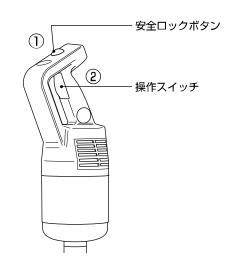
モーターに過負荷がかかると、過負荷警告ランプが赤色で点滅し、5秒後に機械は停止します。

6. 「安全ロックボタン」を押しながら(①)、 「操作スイッチ」を押して(②)ください

ナイフが回転し、食材を撹拌します。

お願い

「操作スイッチ」、「安全ロックボタン」は、必要以上に強く押さないでください。 「操作スイッチ」、「安全ロックボタン」 を必要以上に強く押しますと故障の原因になります。



7. 「安全ロックボタン」から指を放してく ださい

「操作スイッチ」を押さえている間、ナイフが回転します。 調理中は、ハンドルとフットの上部をしっかり持ってください。

本機を容器の縁にもたせかけて使用することができます。

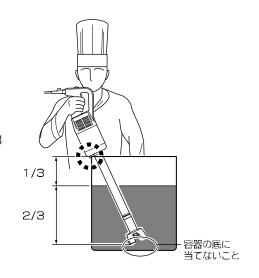
お願い

フット部分を食材に深く差し込み過ぎないようにしてください。

フットの先 (ベルカバーを含む) から2/3 までが食材の中に入るように食材の量を調 節してください。

連続運転の機能を使用しますと、楽に調理することができます。

「連続運転のしかた」(14ページ)を参照してください。



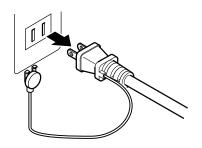
- 8. 停止するときは、「操作スイッチ」から指を放してください
- 9. ナイフの回転が止まりましたら、本機を容器から抜いてください

<u>♠</u> 警告



ナイフの回転が完全に止まってから、本機を容器から抜くこと ナイフの回転が止まらないうちに容器から抜くと、ケガの原因になります。 食材が飛び散り、周囲をよごす原因になります

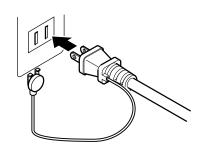
10. 電源プラグを抜いてください



連続運転のしかた

長時間の撹拌調理をおこなうときは、「連続運転ロックボタン」を使用すると「操作スイッチ」を押し続ける必要がなくなります。

- 1. 調理を始める前に「お手入れ」(18ページ)を参照して、ベルカバー、ナイフ、フットなど、食材が接する部分をきれいに洗浄してください
- 2. ご使用前に、「操作スイッチ」が解除位置(押しても堅くて動かない状態) になっているか必ず確認してください
- 3. 電源コードが、ナイフに接触していない ことを確認してください
- 4. 専用コンセントに、電源プラグを差し込ん でください



5. 食材の入った容器(底の平らな鍋など)に、 本機のフットの先を差し込んでください

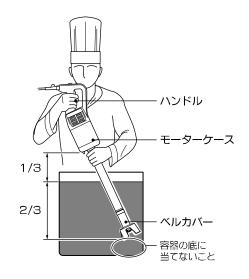
お願い

本機を食材に差し込む前にフットの先端にベルカバーがしっかりと取り付けられているか確認してください。

食材の中にベルカバーが落ちますと、モーターケース内に食材が浸入し、故障の 原因なります。

本機は、落としたり、倒したりしないでください。

落としたり、倒したりしますと、故障の 原因なります。



本機のフットやベルカバーを容器の縁や硬い物にぶつけないようにしてください。 フットやベルカバーが変形し、故障の原因になります。

空運転はしないでください。

食材などに差し込まずに運転しますと、軸受け部が摩擦により早く損傷し、故障の原因 になります。

ベルカバーが容器の底に当たらないように、本機を少し傾けてください。 ベルカバーを容器の底に当てて調理をおこなうと、容器内の対流が悪くなり撹拌ムラの 原因になります。

調理中は、通風カバー部分をふさがないでください。

通風カバー部分をふさぐと、モーターケース内に熱がこもり、モーターが故障する原因になります。

お願い

フットの先(ベルカバーを含む)は、2/3まで(目安)の範囲内を食材に差し込んでご 使用ください。

食材の調理可能温度は、80℃以下ですので、80℃を超える食材は調理しないでください。 80℃を超える熱い食材を調理しますと、ベルカバー、フット、ナイフのプラスチック部 分の変形や、変色の原因になります。

粘度の高い食材は、調理しないでください。

モーターに過負荷がかかると、過負荷警告ランプが赤色で点滅し、5秒後に機械は停止します。

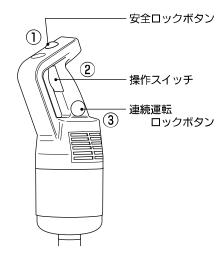
6. 「安全ロックボタン」を押しながら(①)、 「操作スイッチ」を押して(②)ください

ナイフが回転し、食材を撹拌します。

お願い

「操作スイッチ」、「安全ロックボタン」、 「連続運転ロックボタン」は、必要以上に 強く押さないでください。

「操作スイッチ」、「安全ロックボタン」、 「連続運転ロックボタン」を必要以上に強 く押しますと故障の原因になります。



- 7. 「安全ロックボタン」から指を放してください
- 8. 「連続運転ロックボタン」を押して(③)ください
- 9. 「操作スイッチ」から指を放してください
- 10. 「連続運転ロックボタン」から指を放してください

ナイフは連続で回転します。

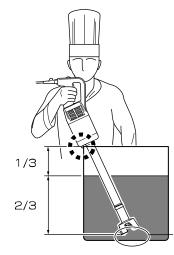
調理中は、ハンドルとフットの上部をしっかり 持ってください。

本機を容器の縁にもたせかけて使用することができます。

お願い

フット部分を食材に深く差し込み過ぎないようにしてください。

フットの先 (ベルカバーを含む) から2 / 3 までが食材の中に入るように食材の量を調 節してください。



容器の底に 当てないこと オプションのパンサポートを使用しますと、容器に本機を固定でき、手で持たなくても調理できます。

「パンサポート (オプション) について」 (17 ページ) を参照してください。

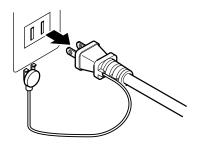
11. 停止するときは、「操作スイッチ」をもう一度押してください

↑ 警告



ナイフの回転が完全に止まってから、本機を容器から抜くこと ナイフの回転が止まらないうちに容器から抜くと、ケガの原因になります。 食材が飛び散り、周囲をよごす原因になります

- 12. ナイフの回転が止まりましたら、本機を容器から抜いてください
- 13. 電源プラグを抜いてください



パンサポート(オプション)について

オプションのパンサポート(オプション)を使用しますと、容器の縁に本機を取り付ける ことで、手で持たなくても調理できます。

<u>徐</u> 警告



パンサポート(オプション)を使用する場合は、容器に食材を入れた状態で、本機を十分にささえる重さにすること

を十分にささえる重さにすること 本機を落としたり、倒したりしますと、ケガの原因になります。 食材が入った容器を倒した場合、周囲を汚す原因になります。 熱い食材が入った容器を倒した場合、やけどの原因になります。

パンサポート(オプション)を使用するときは、本機が倒れないようにしっかり固 定すること

ー機を倒したりしますと、ケガの原因になります。 食材が入った容器を倒した場合、周囲を汚す原因になります。 熱い食材が入った容器を倒した場合、やけどの原因になります。



お願い

本機を落としたり、倒したりしないでください。 本機を落としたり、倒したりした場合、故障の原因になります。

お手入れ

いつも清潔にご使用いただくためと、機械を長持ちさせるために、次の場合、必ず「お手入れ」 をおこなってください

初めて機械を使用する場合。

調理後、速やかに。

繰り返し使用する場合、30分おき。

魚 警告



モーターケースに直接水をかけないこと 漏電、ショート、感電の原因になります。

注意



お手入れや点検のときは、「操作スイッチ」が解除位置になっているか確認し、電源プラグを抜くこと

誤って、「操作スイッチ」が入った場合、ケガの原因になります。 漏電、ショート、感電の原因にもなります。

お願い

ベルカバー、フット、ナイフは、食器洗浄機などは使用せずに 80℃以下のお湯で洗浄してください。

高温洗浄すると樹脂部分の変形や、変色の原因になります。

次亜塩素酸ソーダを含む除菌剤や電解酸性水、オゾン水は、使用しないでください。 部品の劣化、変色の原因になります。

清掃をするとき、クレンザー、酸類、アルカリ性洗剤、ベンジン、ガソリン、シンナーなどは使用しないでください。

傷がついたり、破損したりする原因になります。

気泡性、強力な浸食性、有毒性のある洗浄剤は絶対に使用しないでください。

やむを得ず、塩素系の洗剤や電解酸性水、オゾン水などを使用して洗浄をおこなう場合は、 漬け置きしないで洗浄してください。

洗浄後は、十分すすいでから速やかに水気を切り、完全に乾燥させてください。

塩素系の洗剤や電解酸性水、オゾン水などに、漬け置きしますと、錆および腐食の原因 になります。

除菌洗浄をおこなう際の洗浄剤は、無泡性および低発泡性で、厨房設備および調理器具用のものを使用し、入れすぎないようにしてください。

濃度が濃すぎると金属、プラスチック、ゴムの部品を損傷します。

除菌洗浄剤、アルコール除菌剤の使用については、各々の定める使用方法および、使用上の注意事項に従ってください。

お手入れ

- 1. お手入れの前に、「操作スイッチ」が解除位置(押しても堅くて動かない状 態)になっているか必ず確認してください
- 2. 電源コードが、ベルカバーやナイフに接触 していないことを確認してください
- 3. 専用コンセントに、電源プラグを差し込ん でください



- 4. 水または温水を入れた別の容器を用意して、 フットの食材が付着している部分まで差し 込んでください
- 5. 「安全ロックボタン」を押しながら(①)、 **「操作スイッチ」を押して(②) ください** ナイフが回転します。



「操作スイッチ」、「安全ロックボタン」 は、必要以上に強く押さないでください。 「操作スイッチ」、「安全ロックボタン」 を必要以上に強く押しますと故障の原因に なります。



6. 「安全ロックボタン」から指を放してください

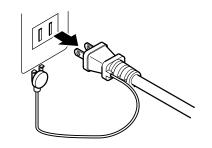
「操作スイッチ」を押さえている間、ナイフが回転します。 約10秒間、ナイフを回転させ、付着した食材を洗い落としてください ハンドルとフットの上部をしっかり持ってください。

お願い

フット部分を容器内の水に深く差し込み過ぎないようにしてください。

- 7. 停止するときは、「操作スイッチ」から指を放してください
- 8. ナイフの回転が止まりましたら、フット部分を容器から抜いてください

9. 電源プラグを抜いてください

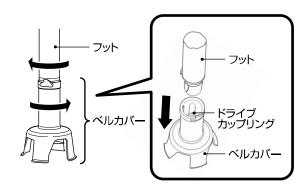


10. 本機のフットからベルカバーを取り外してください

ベルカバーを矢印方向に回して、フットから取り外してください。

熱い食材(80℃以下)を調理したあとは、フットからベルカバーが取り外しにくくなる場合があります。

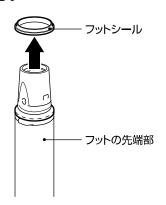
冷水でフットの先を冷やすと、フットからベルカバーが取り外しやすくなります。



11. 本機のフットからフットシールを取り外してください

お願い

フットシールを取り外すときは、キズなどを付けないようにしてください。 フットシールが破損や劣化している場合、そこからフットやベルカバーの内部へ食材などが浸入する恐れがあり、故障の原因になります。



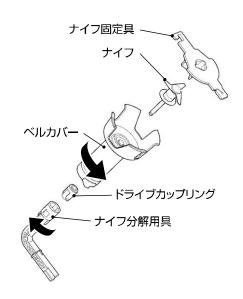
12. ベルカバーからナイフを取り外してください

漁警告



ベルカバー内へのナイフの取り付けや、取り外しのときは、付属のツールセットを使用し、料理用手袋や厚い布などで手を保護すること ナイフの刃に触れた場合、ケガの原因になります。

- ① ツールセットのナイフ固定具を、ナイフが固定される向きに合わせてはめ込んでください。
- ② ツールセットのナイフ分解用具を、ドライブカップリングに差し込み、ナイフ固定具をしっかり支えて反時計方向に回し、ドライブカップリングを取り外してください。
- ③ ベルカバーからナイフを抜き取ってください。



13. ナイフとフットシールを除菌洗浄剤できれいに洗浄してください

↑ 警告



ナイフの刃は、鋭利ですから、直接刃の部分に触れないこと 誤って刃に触れた場合、ケガの原因になります。

注意



お手入れのときは、ナイフを洗浄液の入ったコンテナやシンクなどに、漬けたままにしておかないこと
タブナイフの乳が見えなくなり、誤ってナイフの乳に触れると、ケガの原因になり

泡でナイフの刃が見えなくなり、誤ってナイフの刃に触れると、ケガの原因になり ます。

ナイフとフットシールを定められた使用濃度の除菌洗浄剤を入れたぬるま湯の中で、布かスポンジできれいに洗浄してください。

お願い

硬いタワシなどでこすらないでください。 樹脂の部品にキズがつく原因になります。

ナイフの洗浄は、速やかにおこない、洗浄液や水、湯に漬けたままにしないでください。 漬け置きをしますと、金属部分が錆びる原因になります。

14. ナイフとフットシールは、流水で十分すすぎ洗いをして、洗剤成分を完全に 洗い流してください 15. ベルカバーとフット、モーターケースの外装部は、除菌洗浄剤を入れて溶かしたぬるま湯で布巾を絞り、付着した食材などをきれいに拭き取ってください

魚 警告



モーターケースに直接水をかけないこと 漏電、ショート、感電の原因になります。

お願い

硬いタワシなどでこすらないでください。 樹脂の部品にキズがつく原因になります。

ベルカバーやフットの内部に洗浄液や水が浸入しないようにしてください。 洗浄液や水が浸入しますと、ベアリングなどが錆びる原因になります。

- 16. ベルカバーとフット、モーターケースの外装部をすすぎ用のきれいな水で絞った布で拭いて、完全に洗剤成分を拭き取ってください
- 17. ベルカバーとフット、モーターケースの外装部は、除菌済みのきれいな乾いた布などで水分を拭き取り、十分空気乾燥させてください
- 18. アルコール除菌剤をしみ込ませた布で、ナイフとベルカバー、フット、モーターケースの外装部を拭いて除菌をおこなってください
- 19. 各部品を元通り組み立ててください

♠ 警告



ベルカバー内へのナイフの取り付けや、取り外しのときは、付属のツールセットを 使用し、料理用手袋や厚い布などで手を保護すること ナイフの刃に触れた場合、ケガの原因になります。

ベルカバーにナイフとドライブカップリングを取り付けてください。

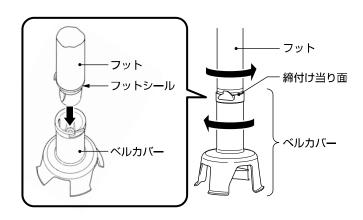
フットにフットシールを取り付けてください。

お願い

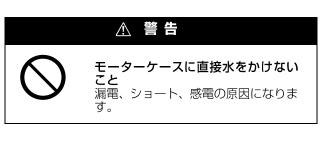
フットシールは、必ず取り付けてください。

フットシールを取り付けずに調理をおこなうと、フットやベルカバーの内部へ食材などが浸入し、故障の原因になります。

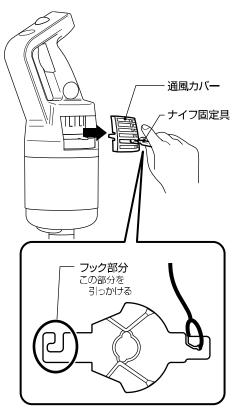
フットにベルカバーを取り付けてください。



- 20. 付属のツールセットのナイフ固定具のフック部分を通風カバーに引っかけ、通風カバー(2箇所)を外してください
- 21. モーターケースの内部に溜まったホコリ などを取り除いてください



22. 清掃後は、忘れずに通風カバーを取り付けてください



収納について

本機を使用しないときは、付属のウォールサポートに掛けて収納してください

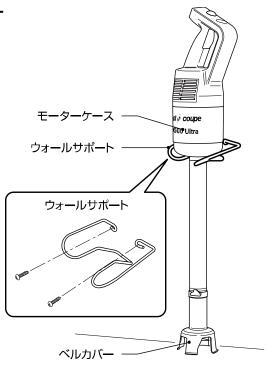
付属のウォールサポートは、本機の質量を 十分支えることができる丈夫な壁面にお手 持ちのビスなど(2箇所)で取り付けてく ださい。

ウォールサポートは、右図のようにベルカ バーの部分が作業台などの上に付く状態で、 モーターケースを保持できる位置に取り付 けてください。

お願い

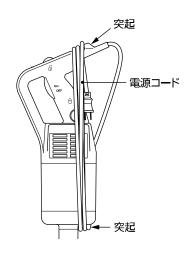
床に立てて置いたり、調理台の上に横に して置いておきますと、転倒したり、落 下したりして故障の原因になります。

ウォールサポートを取り付ける壁面は、必ず、本機の質量を十分支えることができる丈夫な壁を選んでください。 壁面が弱い場合、ウォールサポートが外れて転倒したり、落下したりしてケガの原因になります。



本機を使用しないときの電源コードは、 モーターケースに巻き付けておいてくだ さい

右図のように電源コードのコネクター部の 突起と、モーターケースの下部にある突起 にかけるように電源コードを巻いてくださ い。



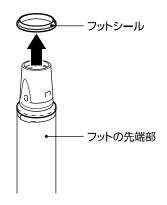
フットシールの交換

フットの先端部のフットシールが、破損 または劣化している場合は、付属のフットシール(予備)と交換してください

お願い

フットシールを交換するときは、キズなどを付けないようにしてください。

フットシールが破損や劣化している場合、 そこからフットの内部へ食材などが浸入する恐れがあり、故障の原因になります。



本機から電源コードを取り外すには

電源コードを本機から取り外す必要がある場合は、以下の方法で取り外してください。

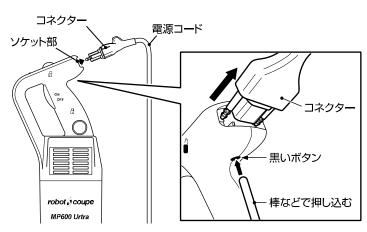
お願い

電源コードは、不具合などで交換が必要なとき以外は、本機から取り外さないでください。

本機の取手部分にあります黒いボタンを押し込みながら、電源コードのコネクター部分を持って、取り外してください

本機の取手部分にあります黒い小さいボタンを押し込みながら、電源コードのコネクター部分を持って、取り外してください。

黒いボタンは、硬い棒などを使って押し込んでください。



故障の診断と手当

故障かなと思われ修理を依頼する前に、次の項目を確認してください。

症状が改善されないときや「手当」の欄に「お買上げ店へ連絡してください。」と記載されている場合は、本機の「操作スイッチ」を切りの状態にして機械を止め、電源プラグを抜いて、早急にお買上げ店へ連絡してください。

で連絡の場合は、本機の型式名、機番お買上げ日、故障状況(できるだけ詳しく)をお知らせください。

| 状 態 | 確認 / 症状 | 手 当 | | | |
|---|---|--|--|--|--|
| | 電源プラグが抜けていません か? | 電源プラグが抜けている場合は、コンセントに、電源プラグを差し込んでください。 | | | |
| | 「安全ロックボタン」を押してい ますか? | 「安全ロックボタン」を押しながら「操作スイッチ」を押してください。 | | | |
| 「操作スイッチ」を入れても | 停電ではありませんか? | 通電するのを待ってください。 | | | |
| 動作しない。 | 連続運転調理中に電源プラグが 抜けたり、停電したりしませんで したか? | 連続運転調理中、通電が遮断(停電、 コード抜けなど)した場合は、通電遮 断安全装置が作動し、機械が止ります。 再度、「安全ロックボタン」を押しな がら「操作スイッチ」を入れてくださ い。 | | | |
| ナ燃から用労立が死失する | 本機に何か触れた状態になって いませんか? | 接触しているものを取り除いてください。 | | | |
| 本機から異常音が発生する。 | ナイフやベルカバーは、正しくセ ットされていますか? | 正しくセットしてください。 | | | |
| 回転振動が大きい。 | 機械の故障の可能性があります。 | お買上げ店へ連絡してください。 | | | |
| 漏電遮断器が切れる。 | 漏電遮断器のレバーの位置が 「OFF(切)」になっていませんか? | 漏電遮断器が「OFF(切)」に作動した場合には、お買上げ店へ連絡してください。 レバーが「OFF(切)」になっていると漏電している可能性があります。 無理にレバーを「ON(入)」にすると、感電や火災の原因になります。 | | | |
| 電源コードやプラグが異常に熱くなる。 | - | お買上げ店へ連絡してください。 | | | |
| 電源コードを折り曲げると 通電したり、しなかったりする。 | - | お買上げ店へ連絡してください。 | | | |
| モーターの回転が不規則で あったり、止まったり、遅か ったりする。 | _ | お買上げ店へ連絡してください。 | | | |

| 状 態 | 確認 / 症状 | 手 当 |
|--------------|-----------------------------|--|
| 調理中に本機が止まった。 | モーターケースが異常に熱くなっていませんか? | 本機には、モーター保護装置が付いており、モーターが過熱した場合、自動的に機械が止まります。 モーター保護装置がはたらいて止まったときは、「操作スイッチ」を切りの状態にし、電源プラグを抜いてください。 モーターへの過負荷の原因を取り除いて、モーターを1時間以上休ませて冷ましてください。 モーターが作動できる温度まで冷めますと、モーター解護装置が向いたできる温度まで冷めます。電源プラグをコンセントに差し込み、「安全ロックボタン」を押している、「操作スイッチ」を押しています。では、この場合には、このは、このは、このは、このは、このは、このは、このは、このは、このは、この |
| | 動作中、過負荷警告ランプが点 滅していませんか? | 過負荷警告ランプが点滅したときは、「操作スイッチ」を切りの状態にし、電源プラグを抜いてください。 モーターへの過負荷の原因を取り除いてください。 過負荷の原因を取り除きましたら、電源プラグをコンセントに差し込み、 改めて調理を始めてください。 |

仕様

| 品 名 | | スティックブレンダー 【ロボクープ】 | | | | |
|------|---------|---------------------------------|--|--|--|--|
| | 型 式 | MP-600U | | | | |
| | 外形寸法 | 幅 125・奥行 180・高さ 970mm | | | | |
| | 電源 | 100V 50 / 60Hz | | | | |
| | 電流 | 6.5A | | | | |
| 消費電力 | | 610W | | | | |
| 回転数 | | 12,000r.p.m. 【無負荷時】 | | | | |
| 安全装置 | | モーター保護装置 通電遮断安全装置 過負荷防止装置 | | | | |
| | モーターケース | プラスチック、アルミ、ステンレス | | | | |
| 材質 | ベルカバー | ステンレス | | | | |
| X | ナイフ | ステンレス | | | | |
| j | 最大処理物深さ | 600mm | | | | |
| | 質 量 | 6.1kg | | | | |
| | 電源コード | 長さ:3.6m | | | | |

※上記の仕様は、品質向上のため予告なしに変更されることがありますのでご了承ください。

| 電源コード (3.6m) | |
|--------------|--|
|--------------|--|

| オプション |
|-------|
|-------|

エフ・エム・アイ商品保証書

《本書は、お客様の正常な使用状態において万一故障した場合、本書記載内容で無料修理をおこなう ことをお約束するものです。保証期間経過後の修理等につきましては、お買上げ店にご相談ください。》

保証期間

保証の効力は、商品お買上げと同時に発生いたします。 その期間は、1年間有効とし、機器本体を対象とします。

保証規定

- 1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常なご使用状態で、保証期間内に万一故障が生じた場合には、お買上げ店へご連絡ください。弊社にて「無料修理」いたします。
- 2. 保証期間内でも次の場合には「有料修理」となります。
 - 1) ご使用上の誤り、および製品の改造や不当な修理により発生した故障および損傷。
 - 2)火災、地震、風水害、落雷その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧その他の外部要因による故障および損傷。
 - 3) 車輌、船舶に搭載して使用された場合の故障および損傷。
 - 4) お買上げ後の転倒、落下や取付場所の移動などによる故障および損傷。
 - 5) 本書の提示がない場合。
 - 6) 本書にお客様名、お買上げ年月日、お買上げ店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
 - 7) 指定外の使用電源(電圧、周波数)の使用による故障および損傷。
 - 8) 本書は日本国内においてのみ有効です。
 - 9) 消耗部品(ナイフ、オイルシール、カーボンブラシ、フットシール)は、保証の対象範囲から除外させていただきます。
- ※ この保証書は本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。 従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。 保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買上げ店にお問い合わせください。

修理対応期間(補修用性能部品の保有期間)

当社では、本製品の修理対応期間(補修用性能部品の保有期間)を販売打ち切り後8年とさせていただいております。

修理対応期間(補修用性能部品の保有期間)を終了している場合は、修理のご依頼をお受けできないことがあります。

| 品 名 | | | スティックブレンダー【ロボクープ】 | | | | | | | |
|-------|------|---|-------------------|----|------------|---|---------|---|-------|-------|
| 坓 | 型式 | | | MP | MP-600U 製造 | | 製造番号 | | | |
| お | ご芳名 | i | | | | | | | 様 | |
| 客様 | ご住所 | ī | ₹ | | | | TEL. | (|) |) |
| お買上げ店 | 店名・住 | 所 | | | | | | | | |
| お! | 買上げ日 | | | 年 | 月 | 日 | 無料修理保証期 | 間 | お買上げE | まり1年間 |

株式会社エフ・エム・アイ

東 京:〒106-0041 東京都港区麻布台1丁目11番9号 Tel.03(5561)6521 大 阪:〒538-0044 大阪市鶴見区放出東3丁目11番31号 Tel.06(6969)9393 営業所 札 幌:〒003-0002 札幌市白石区東札幌二条5丁目4番1号 Tel.011(813)8651 仙 台:〒983-0034 仙台市宮城野区扇町2丁目1番9号 Tel.02(238)5711 名古屋:〒454-0822 名古屋市中川区四女子町2丁目46番地 Tel.052(361)7891 広 島:〒731-0102 広島市安佐南区川内6丁目43番9号 Tel.082(876)1855 福 岡:〒812-0839 福岡市博多区那珂1丁目30番21号 Tel.092(481)2931 出張所 北 陸:〒921-8027 金沢市神田1丁目23番11号 Tel.076(243)7810 沖縄:〒901-2214 宜野湾市我如古1丁目54番21号 Tel.098(870)2766 サービス 盛 岡:〒020-0124 盛岡市厨川4丁目14番5号 Tel.098(870)2766 サービス 盛 岡:〒020-0124 盛岡市厨川4丁目14番5号 Tel.098(870)2766 サービス 宮 岡:〒768-0012 香川県観音寺市植田町155番地1 Tel.0875(57)5161 鹿児島:〒890-0073 鹿児島市宇宿1丁目15番8号 Tel.099(263)8281 東京修理工場:〒130-0011東京都墨田区石原4丁目35番7号 Tel.03(5819)1280